

平成 16 年 12 月 16 日  
記 者 発 表  
道路局 ITS 推進室

## 安全走行支援サービス参宮橋地区社会実験検討会の開催について ～ ITS による新しい交通事故防止対策の取り組み～

国土交通省と首都高速道路公団は、ITS（高度道路交通システム）の技術を活用して、新しい交通事故防止対策について検討するための会議を開催します。

ITS は交通事故などの自動車交通の負の遺産を解消するものとして期待されており、その具体的な取り組みの一つが車と道路の連携により事故の直前に情報を提供することで交通事故の削減を目指す AHS<sup>1</sup>です。

今回の検討会では、AHS の一環として、自動車専用道路の見通しの悪いカーブ区間等においてセンサーを設置し、把握した停止・低速車両情報を既に普及している VICS 車載器を通じてドライバーに提供することの検討を行います。

具体的には、首都高速道路参宮橋付近（東京都新宿区）において社会実験を行い、これらを踏まえ、追突事故や側壁衝突事故やヒヤリ・ハットする危険な状況を減少させるサービスの実施に向けた課題などを検討することとしています。

<sup>1</sup> AHS : Advanced cruise-assist Highway Systems（走行支援道路システム）

### 記

日時：2004 年 12 月 21 日（火） 17:30～19:30

場所：虎ノ門パストラル 新館 4 階「ミント」

電話；03-3432-7261（代表）

参考：検討会委員名簿とスケジュール、対策検討箇所の説明（別紙）

以上

傍聴、取材可。ただし、カメラ撮りは、冒頭のみです。

検討会資料については、会場にて配布いたします。

### < 問い合わせ先 >

道路局道路交通管理課 課長補佐 小田原雄一

代表 03-5253-8111（内線 37432）直通 03-5253-8484

国土技術政策総合研究所 ITS 研究室 室長 喜安和秀

代表 029-864-2211（内線 3831）直通 029-864-4496

首都高速道路公団 業務部 交通管制室 管制技術課 課長 野村英治

代表 03-3502-7311（内線 2895）直通 03-3539-9360

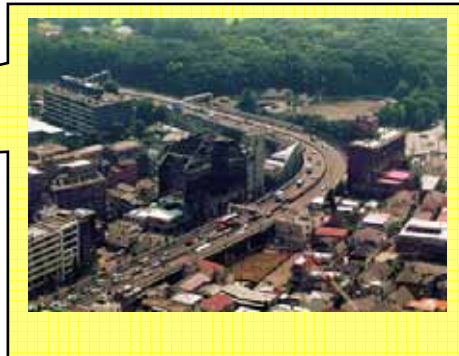
## 検討会委員名簿とスケジュール

## 委員名簿

委員長	学識経 験者	千葉工業大学工学部建築都市 環境学科教授	赤羽弘和
委員		東京大学生産技術研究所助教授	上條俊介
委員		慶應大学管理工学科助教授	大門 樹
委員	道路利 用者	モータージャーナリスト・エッセ イスト	岩貞るみ子
委員		自動車評論家	両角岳彦
委員	道路管 理者等	国土交通省道路局 ITS 推進室長	宮地淳夫
委員		国土交通省道路局有料道路課有料 道路調整官	中神陽一
委員		国土技術政策総合研究所高度情報 化研究センター長	山田晴利
委員		首都高速道路公団業務部交通管制 室長	藤井敏雄
委員		AHS 研究組合専務理事	村岡憲司
オブザーバー		警察庁交通局交通規制課	
		警視庁交通部交通規制課	
事務局		国土技術政策総合研究所 ITS 研究 室	
		首都高速道路公団業務部交通管制 室管制技術課	

## 1 . 対策検討箇所

### (首都高速 4号新宿線 上り参宮橋区間)



#### 参宮橋区間のデータ

- ・ 曲線半径：88m (設計速度 50km/h、規制速度 50km/h)
- ・ 日交通量：46,740 台 / 日 (平成 15 年 10 月の平日平均交通量)
- ・ 事故件数：181 件 (平成 15 年度 首都高速ワースト 1)

#### 都市高速道路のカーブ対策の必要性

- ・ 首都高速道路では、延長で 6% を占める約 100 箇所の事故多発カーブに 21% の事故が集中、参宮橋をはじめとする事故多発カーブ区間での安全対策が望まれています。
- ・ 事故の 75% の要因は、ドライバーの認識の遅れや、判断のミスなどのヒューマンエラーであり、車からは見えないカーブ区間での渋滞末尾や停止車両への追突事故に対して事故直前の情報提供が有効と考えられます。

## 2 . スケジュール

- ・ 第 1 回検討会： 平成16年12月  
首都高参宮橋のカーブ区間における交通実態の分析とAHSの効果の報告  
VICS車載器等を活用したドライバーへの情報提供についての検討  
社会実験実施方針の検討
- ・ 社会実験： 平成17年3月～5月 (予定)
- ・ 第 2 回検討会： 平成17年6月頃 (予定)  
社会実験実施結果の報告  
本格実施に向けた具体的な取り組み方針の検討